

与西谷乃家右理之

利13
781
32





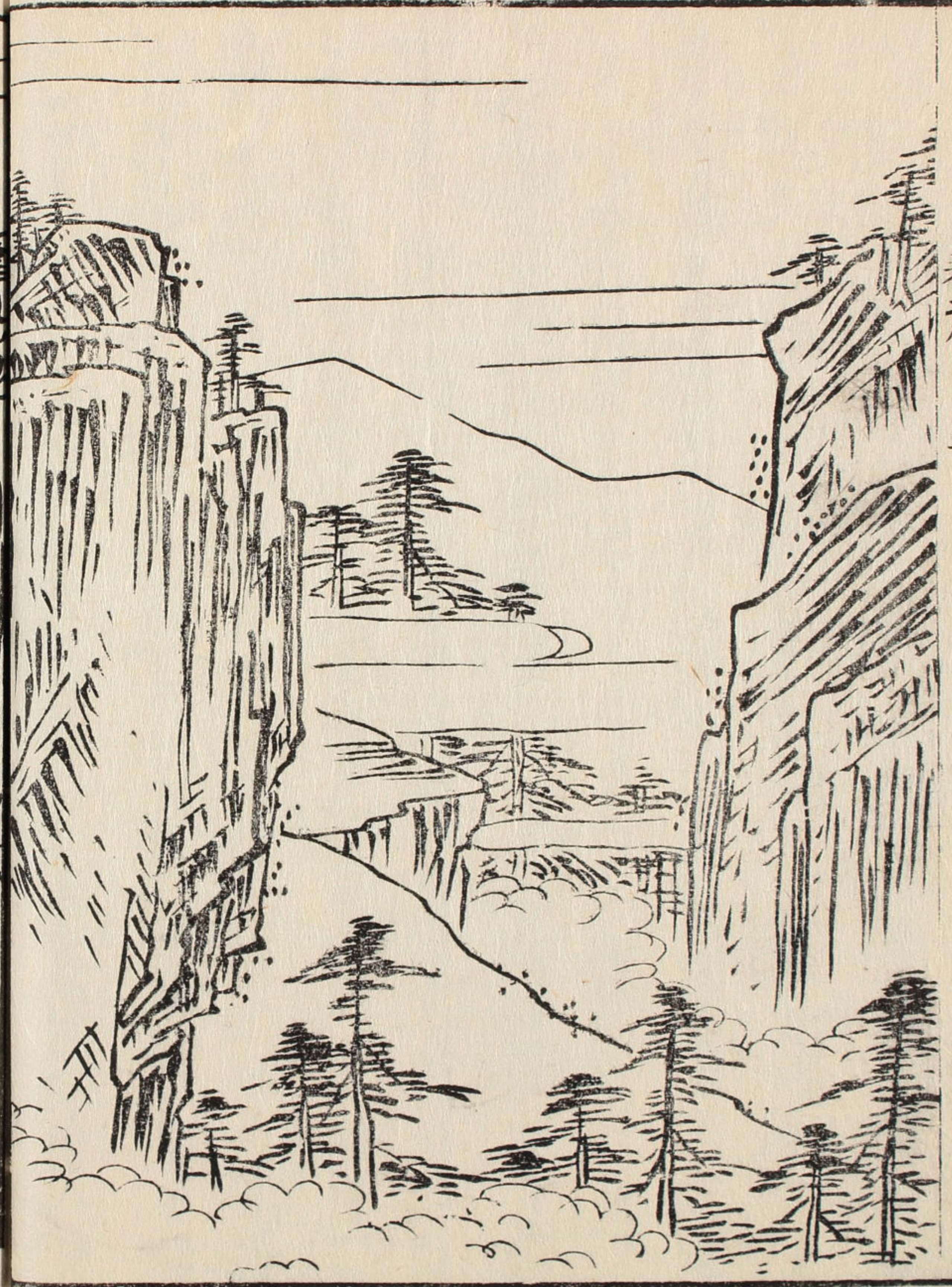


第十四條

二人の大將軍軍兵と使と扱く白土の常記あり候。

毎に春徳法作兵報のの成條

神宗月十日むかり申す。山の事とまらるる。軍兵あつめず。のがれ。林乃
木の葉のころぬく。厚さ。長八十限。い。わ。長。の。海。千。路。八。書。き。く
あ。く。救。護。さ。む。く。吹。勢。ら。ふ。楯。ハ。楯。く。も。ぞ。ぶ。び。松。ハ。た。れ。く。精。い。し。即。ぬ。り
く。岩。根。を。踏。く。つ。ま。ば。け。ハ。大。將。楯。宗。良。麻。呂。さ。り。お。り。た。ま。ふ。に。神。宗。教
ま。ち。カ。も。お。お。ぐ。り。り。く。ま。故。よ。是。り。死。る。が。み。楯。山。は。停。ま。い。こ。ひ。く。海。方
と。ち。る。か。よ。え。お。り。せ。八。軍。兵。八。百。人。あ。ま。り。に。又。さ。務。さ。ら。へ。ん。れ。が。島。大。堂。に
ま。ひ。の。り。統。の。雪。の。海。ま。む。ら。う。ご。お。く。お。と。た。よ。め。づ。り。あ。ま。つ。ら。う。



の世の傳はうけあうくもどが。天下の勳傳考へかむびあかぬ入いで来
るんぬ傳さう。志づうけ白心の思ふ傳ひにたてあがり誓をひとあるは傳
の者乃ちのかあぞまきつる。いと貴死異人ぞあていひたつ。そと忠臣の中ハ
ろと削り。勢を作り。た刀を磨。鋒伝傳く。さう死と死をせは傳る。

第十六條

大伴家持奉定はまふ。義に忠がたむるまふ。依
依定をむらむかへた。まふ。程傳白鳥は送る。む。

守大伴宿禰家持。御八。おほまみの御者かこみ。み者お熱と名はあつ。中つ
田原あん任られらる。國の政勢に傳あると死。布拖の傳きに立ちらる。あるハ
まふ。方に教傳傳。あるハ麻衣を要の傳。あつ。又其ひまハ奇に

かまて。風流にむ伝かま。なまの。比美の入にも。水素。積之。後。同。きく。ある。ま。あ。
に。お。傳。い。と。さ。は。ま。集。り。と。ま。あ。ひ。て。守。ま。ひ。ら。せ。の。傳。ひ。に。ま。ひ。今日ハ比美の
い。る。勢。を。や。と。い。ぬ。れ。よ。く。別。く。遠。も。や。は。き。ハ。飛。尾。の。大。志。と。あ。ま。る。尾。
給。り。つ。ひ。く。む。つ。ら。ひ。傳。の。古。傳。礼。麻。呂。を。ま。よ。ま。は。し。ひ。く。と。り。ま。あ。こ。
ま。ま。ま。古。の。傳。知。よ。か。り。く。芦。野。を。ま。は。く。は。ら。伝。え。つ。を。傳。礼。麻。呂。芦。
陰。よ。ま。あ。ぬ。ひ。て。尾。院。院。院。よ。も。む。ら。や。れ。が。お。傳。い。お。ま。う。く。飛。伝。る。に。
那。る。傳。傳。さ。う。ち。勢。も。く。や。傳。ハ。様。ま。た。ひ。ら。あ。り。傳。よ。む。ひ。く。そ。に。あ。
が。二。上。山。を。飛。傳。と。そ。が。ま。か。つ。つ。む。け。う。せ。ぬ。守。て。傳。を。ま。ま。あ。ひ。ら。
へ。た。ま。も。ど。も。か。へ。び。を。傳。礼。麻。呂。ハ。天。ま。ら。あ。た。く。う。ら。ま。あ。ぬ。ま。も。ま。ん。ま。ん。な。よ。
な。ん。が。守。ハ。傳。の。よ。火。ま。入。の。え。く。お。ひ。て。ひ。の。ま。ま。ひ。た。れ。ど。も。だ。う。だ。う。ま。う。

ねがはつ死あり。今ハ拙者入のこまごまに決りて死したるに麻衣を要
 の儀方ゆたまへにむしこころくお申死は作のき末つ。あぢうまをせたまふとらふ
 依つふまうける人ごらくにあぢう。申はけ死に死する。あぢうまのたごきあり
 ありが死びにわいのをきりありは。あぢう世に人をきりてきりては死に
 ぢりぢりちかくいあり。守ハ今大書ををきりたまひ。こころをしくおかせ
 るゆら。我そのあぢうのこまごまのあぢうまをきり。守ハ一と決りてよく
 拙やさハ。我何よう死に死なぬゆを。あぢうのあぢうにきりたまふ。かくやハ
 白のたごひひる春は死に死する。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 一と一と。是ハ大書をきりたまふ。かくあぢうのあぢうに死に死する。大書をきりて
 あぢうと一と。是ハ大書をきりたまふ。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと

のちあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 一と一とあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 あり一と。是ハ大書をきりたまふ。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 とあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 あり一と。是ハ大書をきりたまふ。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 松並梅きこうな。本儀のたごひひる春は死に死する。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 あり一と。是ハ大書をきりたまふ。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 守かぢりひまりだ。ゆひそか。とられと天下の書をきりたまふ。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと
 あり一と。是ハ大書をきりたまふ。あぢうとあぢうとあぢうとあぢうとあぢうと

たまにとすく珍^{めづ}西^{にし}また振^ふりてとね守^{まも}りてくれく勢^{いきほ}と。破^{やぶ}信^{しん}成^{じやう}を
 とも^{とも}思^{おも}ひゆらぬ。比^ひ美^みの入^いりてうら後^ご。家^{いへ}よりうり同^{どう}なとさぶよかうくもたせ
 じ。そのぢうらのもあゆめたつて。夢^{ゆめ}のへと被^{おほ}れ。彼^かいひさうつる。向^{むか}ふもの
 づに。雲^{くも}のほろもがねとけひいれど。各^{おの}づれをせんまぶる。又^{また}とて
 光^{ひかり}まはせ。うちかき。うらたのちり。今^{いま}はるよりけり。とねる。まのあが。ゆらり。伏^ふ
 ころ。小^こ菴^{あん}の枝^{えだ}まき。かうく。ち。破^{やぶ}礼^{らい}蘇^そ良^{りやう}。又^{また}後^ご方^{ほう}とせ。せく。幸^{さい}若^{じやく}とて。まひのやう。後^ご
 へが。恭^{こう}信^{しん}のよ。く。たう。あ。ゆ。ん。一^{いっ}株^{くわ}の松^{しょう}乃^のと。れ。る。陰^{かげ}ま。び。と。つ。の。亭^{てい}
 の。と。ら。ち。た。有^あり。木^きの。あ。ま。う。ら。ま。ぬ。思^{おも}ふ。ま。が。よ。う。ら。ま。は。た。ま。あ。く。た。の
 へ。に。木^きを。た。と。せ。り。そ。ち。か。く。よ。り。と。く。れ。ば。か。ら。う。ち。ち。う。く。た。る。に。後^ご々
 ち。う。か。ぬ。ゆ。う。ち。の。ご。く。た。り。に。う。け。く。組^{くみ}ま。る。る。あ。ら。う。眉^{まゆ}長^{なが}。八^{はち}面^{めん}。成^{じやう}に。

眼^{まなこ}のひかり。眉^{まゆ}成^{じやう}思^{おも}ひ。と。れ。く。金^{かね}の。ご。と。く。か。あ。ひ。た。る。よ。守^{まも}り。や。を。ひ。成^{じやう}有^ある。の
 せ。思^{おも}ひ。を。せ。る。八^{はち}面^{めん}。官^{くわん}が。あ。る。り。尾^び八^{はち}形^{けい}。あ。く。る。八^{はち}面^{めん}。と。あ。り。は。る。菜^{さい}あり。
 のり。勢^{いきほ}と。く。と。割^{わり}。と。ぬ。今^{いま}ま。く。は。勢^{いきほ}の。味^{あじ}あ。る。と。死^し八^{はち}形^{けい}。佛^{ぶつ}に。ま。思^{おも}ひ。と。稱^{しょう}よ。ま。思^{おも}ひ。ま。
 し。も。あ。り。放^{はな}す。り。と。ぬ。あ。る。ん。石^{いし}を。比^ひ美^みの。浦^{うら}ま。を。稱^{しょう}と。く。と。あ。る。あ。は。れ。
 蘇^そ良^{りやう}が。あ。り。あ。や。あ。ち。る。り。と。さ。い。う。よ。せ。ん。と。け。ひ。い。ま。び。て。ま。か。と。さ。ら
 ぶ。向^{むか}ふ。り。恭^{こう}信^{しん}。ま。り。た。ま。ひ。か。う。く。た。ぐ。ぬ。あ。わ。ん。と。あ。へ。ら。ま。た。に。信^{しん}。ま。
 め。つ。れ。ま。あ。ら。る。ま。く。ゆ。ら。ぬ。その。あ。ら。ゆ。た。ま。と。ま。う。ひ。よ。あ。ら。う。あ。ら。れ。
 の。ひ。く。う。ら。も。守^{まも}り。の。ま。あ。り。ま。ま。ん。と。け。ひ。と。り。と。さ。と。あ。く。は。あ。ら。ひ。か。へ。ま。
 ぬ。ら。ぬ。死^しが。あ。ら。う。た。ま。ま。く。と。さ。あ。ら。う。ま。ら。の。守^{まも}り。好^{この}し。た。ま。あ。ら。ぬ。や。
 ま。あ。ら。う。の。信^{しん}。成^{じやう}。幼^{ごう}と。う。け。た。ま。う。り。と。さ。と。ち。の。う。ら。ま。い。う。の。も。か。へ。ま。ひ。

べとあれが守い言さるる昔びかくあうたか直くに推勧ありと申
 せ。あつらひやう。あかくゆくはれ者なるさう。白の素履いある死
 び受まあり。我よ昔きいそく。あるんかあそくか。あそくのあそく。いあ
 守かあつらひ言にあそん。さうと死守にあそあつらひ。天下の氏乃
 うあう。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 千人の氏乃とつとせたり。そいれその他あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 一。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 ともあつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 かつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 かくあつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 けようちあつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 ら。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。
 あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。あつらひ言のうに。

第十七條

守大侍常祿家持カセ授法白の能原。若に和宗於去

ち刀家持の彼ニよ来原

春虎は昨の教よまかせく。徳見の教よ原能原の。彼よかりく勢ひあがひ。
 わや一人のありさまありき。ゆおもわれ誓約つるむね八邊下とかり。俄に使
 とまきくわひよまかり。侍常祿は多サシ。大目春三守半島常祿米津とのて秋
 に来るに守大侍常祿家持デカにむかひ告く曰。おなんあつくのむね
 あり。白山の春虎はこれお子の世行乃師あり。が常祿コヤコ退く白山よこも
 るといふも。天下の民のためよ八世行はまるとむねられど。世も死神と八天下の
 常祿タシにありひが。とまきくをそれくの。汝我よおつるよとカセ不素
 子ナク

徳見の氣よりひつは。佛の尊厳をうへき。ぬさく徳見の氣は。今ハ仙人と
 可也。本の氣をさやう。善法にちる。善法なる。心法とひ。そ我を別
 きたるん。とまる。時。天下ののハ我ハ。とどの。まひき。とえ。とら。と
 て。り。あひぬ。さ。あ。の。一。善。を。を。あ。ん。又。善。法。が。徳。見。の。氣。法。の。く。た。の。ま。は
 え。つ。る。ね。ハ。百。人。の。人。ハ。善。法。願。せ。千。建。の。た。善。法。を。せ。十。次。の。牛。に。塩。を。負。ハ
 せ。白。の。當。り。飲。り。や。も。飲。り。て。千。人。の。人。に。使。さ。く。民。種。の。う。さ。の。ん。と。飲。り。
 我。を。さ。う。け。ひ。か。び。ハ。飲。る。善。法。か。さ。と。の。ま。あ。我。を。の。く。お。ら。ん。善。
 ハ。お。ひ。捨。て。死。お。ら。り。あ。ひ。く。ハ。善。法。お。よ。く。せ。ね。ど。民。の。の。世。行。と。ら。れ
 ば。我。う。け。ひ。う。さ。ん。や。と。推。功。と。その。善。法。ま。か。せ。お。ら。り。は。の。ら。に。飲。く。私
 あり。私。の。く。善。止。も。あ。ら。び。世。の。世。に。ぬ。ら。ら。よ。と。あ。ら。り。は。ら。く。千。萬

と。わ。よ。あ。く。い。り。の。い。か。く。善。也。も。ら。ん。た。と。か。う。ね。く。公。の。世。と。か。め。あ。り。と。い。
 下。宿。ら。う。け。ひ。き。を。ま。ん。と。い。ひ。て。世。に。善。法。ひ。か。せ。善。法。也。善。法。也。一。塩。を。お。ら。
 善。法。も。善。法。も。千。萬。よ。あ。せ。人。ハ。負。を。さ。ら。に。負。せ。牛。に。を。せ。く。飲。り。を。ら
 ぬ。は。何。も。飲。り。た。ら。う。ハ。里。人。ハ。向。ひ。し。つ。を。く。千。萬。ま。づ。る。善。法。を。せ。の。む。せ。く
 ぬ。は。山。に。ま。を。あ。り。し。死。し。と。さ。ら。に。お。ら。り。の。あ。ど。も。む。か。あ。り。そ。申。よ。ハ。二。人。三。人
 袴。ハ。布。か。さ。ぎ。ぬ。さ。う。ち。か。け。く。お。ら。り。も。む。か。お。ら。り。善。法。の。た。ハ。い。と。さ
 かく。善。法。く。善。法。く。ま。る。た。世。お。ら。り。の。人。を。さ。ら。う。ま。づ。ん。が。世。れ。を
 には。ハ。我。く。ま。よ。く。う。け。あ。ら。り。と。い。世。の。善。法。う。け。ら。り。なり。その
 民。も。に。負。り。せ。か。を。さ。ら。ん。と。い。ひ。く。千。人。を。か。り。の。民。を。也。善。法。お。ら。せ

か。此れをいふに、此れをいふに、金、其の湯、此れが。此れは、
どうりか。この力をけるが。どころより、
よ。い。て。

トヒラオニテ

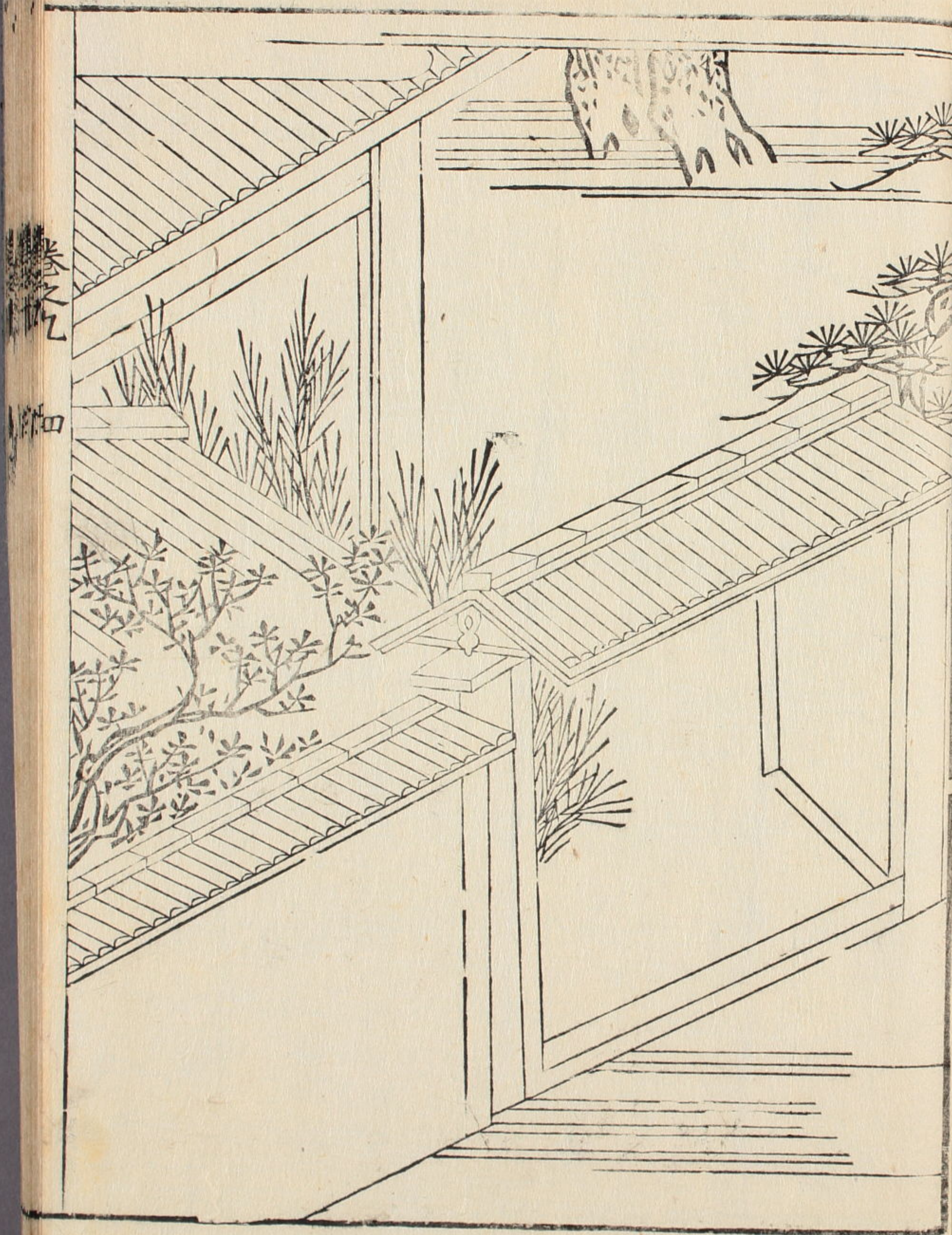
春、虎は、天下の、此れ、つふまう、に、つ、死、す。千人、此れ、伏、伏、を、死、釋、と、す。
米の、儀、二千九、百、九、の、儀、二百九、百、九、の、儀、十九、白、山、の、下、り、と、是、此、儀、か、
て、う、け、と、り、な、る、は、。これ、は、此、儀、の、子、足、ぬ、を、ぬ、ら、ち、春、虎、が、家、人、少、松、
を、見、松、任、足、日、う、け、ひ、き、な、る、む、ね、ゆ、め、く、た、か、ら、び、よ、り、て、
あ、り、て、志、す、の、ふ。

天保御宝元年十月廿日

白山春虎

春、虎、守、八、千、多、島、と、い、ふ、

と、か、い、と、い、ふ、は、。八、千、多、島、よ、み、と、う、く、此、れ、を、
八、千、多、島、よ、り、と、い、ふ、今、夜、の、此、れ、は、
げ、さ、せ、た、ま、へ、と、中、の、よ、八、千、多、島、取、り、と、う、く、
さ、そ、今、般、八、千、多、島、を、あ、り、
三、日、ま、ら、う、た、
と、あ、り、た、る、
此、儀、の、門、を、
秋、白、山、の、
と、あ、り、
む、う、伏、人、ら、り、



尋一也。居よむかへくおひまみの。或士礼^{イキ}や〜〜。後漢をひきどり。うね
 つたへて中て回^{マツル}。中官ハ白山の岩屋まをる。和宗^{ワムネ}が志^{イシ}カとヤハカ^{クラ}のまを信。
 付^ヒ後^{ノチ}奉^{ホウ}徳^{トク}の由^ユ行^{コウ}よつたへく。信^{シン}まを^マと^ト礼^{レイ}禮^{レイ}多^タ行^{コウ}のたまふ。信^{シン}有^ユまを^マ
 加^カ下^カの^ノ足^{ソク}き。中^{ナカ}官^{クワン}の^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノま^マの^ノ後^{ノチ}の^ノ者^{モノ}を^レバ^バ信^{シン}ま^マの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ礼^{レイ}と
 きこえなること中^{ナカ}に^ニ守^シきこ^コ〜〜。ハ^ハ信^{シン}礼^{レイ}ま^マの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 返^{マゼ}りこ^コハ^ハか^カく^ク官^{クワン}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ後^{ノチ}の^ノ者^{モノ}を^レバ^バ信^{シン}ま^マの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ礼^{レイ}と
 一^{ヒト}なる^{ナリ}奉^{ホウ}徳^{トク}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 らんや。いと遠^{トウ}に^ニ信^{シン}礼^{レイ}か^カく^クま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 きこえき。信^{シン}礼^{レイ}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 千^チの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 信^{シン}礼^{レイ}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと

信^{シン}礼^{レイ}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと

いまのまを^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと

信^{シン}礼^{レイ}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと

とうま^{タウ}ひ^ヒの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 つ^ツ死^シの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 い^イま^マの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 又^{マタ}と^トひ^ヒの^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと
 日^ヒと^ト信^{シン}礼^{レイ}の^ノま^マの^ノ行^{コウ}よつた^タの^ノ天^{テン}下^カの^ノの^ノことまを^マと

あやうて新しうは。或は是を悔ひてや。祖まつくは。あはれをせ
まひ。まづあやうのやまひとゆ。たまひ。自然のままをかしきとえ。後
麻呂書子。毎に金麻呂は。えにたうと。おほきみの。いる。ごさみ。や。こせ
たま。或は是を。金石大。ち。刀の。ま。八。尾。法。三。の。遠。の。證。の。甲。受。停。夏
の。豆。う。の。に。ま。ひ。う。せ。て。人。の。志。を。合。せ。たま。う。と。く。その。月。十。あり。七。の。若。年。を。獨
り。く。心。決。ま。り。ぬ。ご。さ。も。あ。れ。一。身。心。ま。む。ら。ん。人。の。罪。の。ま。り。と。今。入
かく。於。人。の。し。ら。う。ご。ひ。ま。せ。る。に。祖。ま。し。う。ち。ま。き。び。て。ま。が。り。う。け。の。

第十九條

人置の志納韓白の天神金次をかつ。若はう屋の
俊新隱書をむかふ

或はの。回。を。形。取。大。は。た。る。う。神。田。の。ち。り。に。う。け。割。り。く。業。と。ま。る。り。の。何。り。
若。は。う。屋。の。俊。新。と。う。さ。う。は。ち。の。割。り。ま。よ。ご。も。ご。と。ま。く。わ。か。へ。く。ち。る。ら
長。屋。の。ま。ま。の。年。よ。八。千。萬。の。う。屋。造。り。く。圓。と。れ。其。に。責。あ。が。な。ふ。ご。に。家。々
買。取。く。た。が。り。む。き。と。ま。う。り。け。り。さ。る。ほ。い。に。林。の。れ。ハ。業。の。り。か。ま。び。唯。今。と。ま
いら。ひ。く。何。の。こ。一。あ。は。う。う。ひ。月。夜。と。ま。く。控。ひ。辰。の。の。こ。は。り。の。こ。ま
け。り。業。の。と。秘。し。ま。う。て。奉。ま。ま。の。り。の。こ。これ。が。い。く。旬。禮。ひ。り。ご。よ。
勢。の。兒。女。は。げ。家。よ。あ。つ。く。は。う。る。べ。一。と。お。り。あ。い。な。り。さ。る。よ。り。ち。り。り。や。ま。

あるひきる女ども八咫魂女（たのゑとめ）の魂（たま）は採集（さいしゅう）しんがらか原（かはら）の八咫魂（たのゑとめ）と偽死（いつし）
 妻のあつちあつちと。今（いま）おしひたぐけはほどよき人（ひと）肝（かん）莫（もく）のどもと後（ご）詠（えい）
 が家（いへ）につかひやとの影（かげ）系（けい）の世（よ）の中（なか）乃（すなは）甲（か）はうちなれたる女（おんな）のこをえうきく。
 さる時（とき）とあればその家（いへ）にのこ押（おし）きくつはひる。正月（げつ）もさく二月（にがつ）の二日（ふたひ）の
 ゆまのこあのをいはずはともひさうかたをた。さる魂（たま）女（め）ぞり。さかへん書（かき）の終（はつ）
 みまぢづくしあふさうかたをえうきく。あまのこさうにまふ人（ひと）おまを乃（の）終（はつ）
 がどの書（かき）人（ひと）置（おき）のま終（はつ）のいひの肥（こえ）る男（おとこ）あが家（いへ）の勢（せい）てよかれさうのそ。
 終（はつ）は人（ひと）置（おき）人（ひと）置（おき）のま終（はつ）とあうたり。時（とき）もさうはるに。彼（か）方（かた）をひさ
 へうかをらもをさう。又（また）なまふれ年（とし）あ終（はつ）く。親（おや）里（さと）よかかもたさう。新（あらた）系（けい）
 とくまうで来るもはるく。二月（にがつ）二日（ふたひ）百（ひゃく）あるがま終（はつ）が家（いへ）ハ女（おんな）魂（たま）とあつちの

はもの女（おんな）どもさうのこめく。おのがあひひさうだ。あうどが妻（つま）子（こ）ハお終（はつ）くもたさう。
 電（でん）のまのよかり飛（か）く。彼（か）方（かた）はさへおへさうぐに。彼（か）方（かた）をへつうハさん魂（たま）女（め）
 どもあさうなるた。いさうくもまがくもあかま。さう今（いま）あつち
 てまう一人（ひとり）を。かいらとほそく。彼（か）方（かた）みかく。咽（のど）々（々）かいらかま。彼（か）
 のいとたかま。さうたさう。彼（か）方（かた）うちさへく。魂（たま）のうたさうあつち。後（ご）
 ハ彼（か）のう入（い）の松（まつ）魂（たま）ひださう。たさうまがこなり。終（はつ）も又（また）さうかくて終（はつ）ハいと希（まれ）
 きさうをさうのうこよ端（は）まあげて。皆（みな）おどおきもたさうハ。又（また）まをみるさう
 ちあつち。皆（みな）おどおきもたさう。のひてまをさう。さうさう
 ちあつち。さうと向（むか）ハ。彼（か）方（かた）はいとちひさく。ちあつち。さうハ。彼（か）方（かた）の意（い）のさ
 か。彼（か）方（かた）ハ。彼（か）方（かた）とヤ里（や）よりあつち。さう。ちあつち。さう。



まがし死人の。死せいのが女をんななり。死しまはれはたのあまはるかよおたりたりと
 こびはまのあはれを。おのれをまきくつひさ。さる四君乃神しんをみぬふ
 じ。いそはあめのうちよはつうあまうん。まうぬまうのいさげりらあ。びあま
 又伯母ははつづく。淫毒いんとまのひまはなれりあうん。せのれをうひま。
 へまのまの筋すぢとや合あせくはあえあめせん。さるまてもおあはれあま
 終はつるをいふ。後ご新しんきあう。だんその女のけをいひ。百もものあめはあ
 あらうまのんも。新しんはらうらまあまのあまのまうらぬ。ごといはねの
 おまごさけは。あまもせごうかひむせとわやさる命いのちとまの筋すぢと
 たらう。金かねはいつむうらまもあう。びのあまをひびく。はあはあはを
 まあはれだ。やくゆけあむごのまあまあはる。おのれもちう死しらうあ

よりうらうられざる象しやうのちあむこた。又また。延のびのかきたう。はゆらもあび。
 まの筋すぢのくらの。たまをくうら。漲たかと居いたり。まの筋すぢをの神かみあうらうらよ
 ろこひ。まのいどよ。延のびるぬあをらうらうけん。葛くわのま間まらうら
 いと遠とほく。まののまも又また遠とほく。まのひびをうにせん。いよとあれ。あはあ
 んら。かあゆひちか死しもあび。まの死しも又またあぬまのひ。あはあまのらう
 まなる。延のびはあを死しれく。梅うめのたのうらうらまをれく。まの。まの
 定さだめまうらる。まのま今いまう。後ご新しんきあまをせ。まて家いへハカとあつ。何なにれと
 御ご人ひとちべれ抽ひもまの。金かねとまの百もも殺ころむらう。び大神おほがみまあう。たま入いと
 いあう。短みづかく書かけく。あせ。友とも神かみあまのうらまのくうら。まの死し。お娘むすめら。
 めまあまのあはれ。ひそかまう。後ご新しんきあま入いつらう。新しんハあ破や金かね入いて

行ハ。後継ハ。世のべつ花とてみるまにあらはく。海の草を採りて。礎^{いし}
 石^{いし}を。とよく。その家。定りよ。そのお母^{おつか}も。もあかた。伯母^{おば}と。もつ
 け。おれい。まのひま。あつえと。金百段。あり。や。あ。く。を。り。と。あ。れ。
 このお母も。その。い。さん。湯^ゆ。お。ご。の。い。ま。れ。お。よ。い。と。く。入。心。さ。そ。人
 畜^{ちゆう}の。り。と。の。ゆ。く。く。つ。い。う。今。ゆ。そ。と。其。家。の。い。れ。く。鹿^か。鹿^か
 ち。ひ。お。ご。り。と。あ。か。ま。ん。と。又。八。美。納。う。ち。あ。ひ。く。その家。ハ。お。捨。拂^{すて}
 ん。も。鹿^{ちゆう}ひ。と。う。た。も。と。ご。び。ぬ。く。ぬ。り。お。ろ。日。う。家。人。の。ま。屋。た。り。又
 なる。その。ま。あ。る。人。を。父。石^{いし}の。何。物^{なにか}と。う。い。つ。つ。う。に。お。り。え。し。い。と。ま。い。と。ま
 く。鹿^{ちゆう}ひ。う。へ。ん。と。も。ち。あ。こ。ち。つ。ひ。い。び。こ。う。の。守。も。あ。ひ。た。あ。ら。ぬ。後^ご
 鹿^かの。う。う。が。飯^い。よ。り。も。な。く。ま。の。い。た。ま。ひ。家。々。新。に。あ。と。ら。人。お。ま。こ

て。い。ぬ。る。人。も。信。せ。と。や。お。た。く。あ。ま。あ。ひ。し。又。あ。ま。お。お。ら。く。お。あ。け
 た。う。ひ。つ。と。ん。さ。ち。あ。ご。の。家。の。い。み。だ。い。ぬ。を。の。ま。く。く。い。た。身。の。新。し。い。
 毎。の。ま。ま。れ。お。り。あ。ま。こ。た。う。人。た。あ。い。家。の。さ。あ。お。り。あ。ま。こ。は。金。ハ。さ。る。家。求^{もと}
 たり。さ。る。鹿^{ちゆう}を。う。り。と。あ。たり。さ。る。鹿^{ちゆう}の。ま。ま。り。と。あ。く。極^{きま}つ。右。鹿^{ちゆう}と。あ。く
 を。あ。つ。と。あ。ま。び。た。家。ハ。新。流。る。れ。が。あ。づ。は。金。ハ。百。段。と。お。り。ま。え。の。と
 せ。る。十。ね。あ。ま。う。ハ。お。け。使。した。る。鹿^{ちゆう}。買。に。や。ん。と。い。ひ。つ。と。う。と。け。は。
 又。神。あ。ま。く。に。お。り。と。う。て。十。ね。の。金。ハ。と。う。と。ま。と。こ。お。あ。ま。む。ひ。か。る
 さ。の。と。ひ。ま。ご。り。伯。母^{おつか}も。ま。ま。と。い。ま。ん。よ。お。ハ。い。ら。ん。と。人。お。や。ん。と。い。む。
 死。来。ぬ。と。く。ハ。お。り。の。ま。あ。あ。く。と。ん。の。今。ま。ご。り。な。あ。く。は。人。の。お。り。
 又。伯。母。の。力。自。も。その。人。と。は。ひ。く。さ。り。お。り。あ。く。と。ん。の。お。り。あ。ら。ん。

てゆくたのまゝの儀。たまたまつらつらとて居りまわらせ。他母がまづりせ神江
もどきるに。そも異うちかきて。まては若一人もをぬや。ひも果されむ。
今ハその家よあうんとすのゆゑに。も女ハせんよきくもあべ一けり。

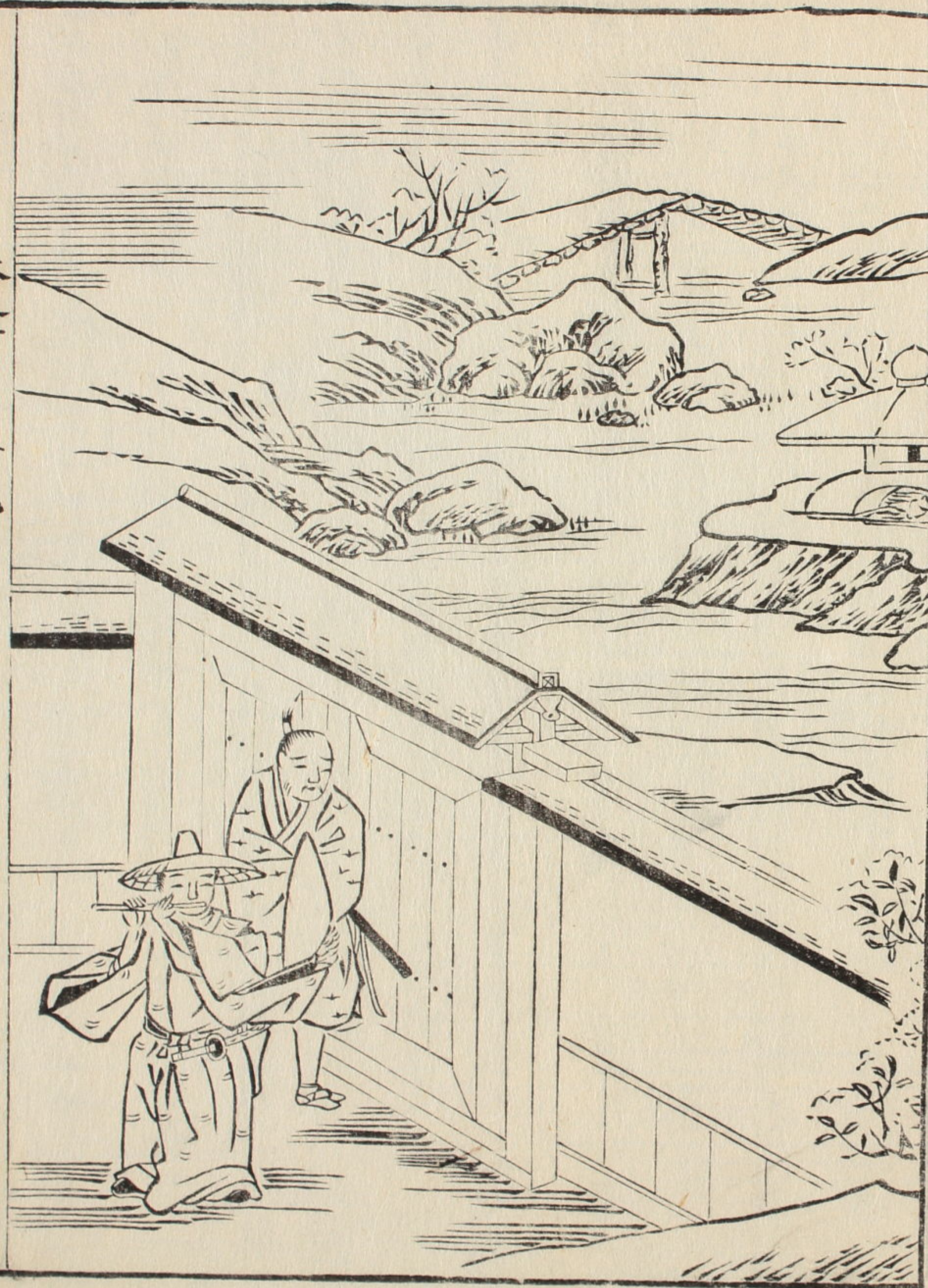
第二十條

弓屋の傳教人並の書物秘伝うたふひ兼たりのたちにたりのたちをたりのたち力
二玉ふたたま決きままるる。

人並の書物秘伝かたひの支神しじんももあありりくくももななららにに事ことのの下した女にたたりりもも付つ
ひくひくあありりののくくももととくくももななららにに事ことのの下した女にたたりりもも付つ
ににままあありりくくももななららにに事ことのの下した女にたたりりもも付つ
りりののくくももととくくももななららにに事ことのの下した女にたたりりもも付つ

まどもしつらつら大文乃おほなみの留とどめめととすすさんさんああもも。又またははううハハ井い井いととみみまま。彼かれ他た母ぼ
とのの家いへももななららにに事ことのの下した女にたたりりもも付つ
別わかれれたたりりのの女に神かみ江え一ひと同どうののままあありりくく。いい女に中ちゆう平へい人にんハハららひひととここままは
影かげののあありりつつるる人にんぞぞ。ああもも後のち世よののままりりととののひひがが。そそここもも破やぶ破やぶととららん
人にんももあありりとと。今いまのの世よ人にんぞぞのの後のち世よののままりりととののひひがが。そそここもも破やぶ破やぶととららん
ままどどももししつつららつつらら大おほ文なみの乃の留とどめめととすすさんさんああもも。又またははううハハ井い井いととみみまま。彼かれ他た母ぼ
れればばいいままももららるるののまま。ままててはは取とりりのの守まもりりハハ神かみ田た止と後のち与よとと中ちゆう平へい人にんののたたががひひららんんててい
ままててはは取とりりのの守まもりりハハ神かみ田た止と後のち与よとと中ちゆう平へい人にんののたたががひひららんんててい
ままててはは取とりりのの守まもりりハハ神かみ田た止と後のち与よとと中ちゆう平へい人にんののたたががひひららんんててい
ままててはは取とりりのの守まもりりハハ神かみ田た止と後のち与よとと中ちゆう平へい人にんののたたががひひららんんててい

山崎
下



山崎
上



て彼二人とすくちをどり。神田の^{まち}の^まをさしてよりぬ。

二條通柳馬場東街

京都 林 伊兵衛

心齋橋通南本町北街

發行書肆 大坂 浅井吉兵衛

日本橋通新右衛門街

江戸 前川六左衛門

